

2年 社会 週3時間 担当：関根 純一

1 教科の到達目標（学習のねらい、身に付けたい力）

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追求したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成する。

2 年間学習計画と単元（題材）

学期	題材名・単元名	学習内容
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> <地理的分野> <ul style="list-style-type: none"> 日本の地域的特色と地域区分 日本の諸地域 	<ul style="list-style-type: none"> 自然環境の特色・人口の特色・エネルギーや産業の特色 交通網・通信網の特色・日本の地域区分 九州地方・中国・四国地方 近畿地方・中部地方
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> 日本の諸地域 身近な地域の調査 地域の在り方 <歴史的分野> <ul style="list-style-type: none"> 近世の日本と世界 近代の幕開け 	<ul style="list-style-type: none"> 関東地方・東北地方・北海道地方 地域調査 持続可能な地域の在り方 結びつく世界との出会い ヨーロッパ世界とイスラム世界、宗教改革、大航海時代 鉄砲とキリスト教の伝来 天下統一への歩み 織田と豊臣の統一事業、南蛮文化と桃山文化 幕藩体制の確立と鎖国 大名統制、鎖国政策、身分制度 経済の成長と幕政の改革 元禄文化、化政文化、政治改革、新たな学問 近代世界の確立とアジア アメリカ独立戦争、フランス革命産業革命、資本主義社会
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> 近代の日本と世界 	<ul style="list-style-type: none"> 開国と幕府政治の終わり 倒幕攘夷運動 幕府滅亡 明治維新と立憲国家への歩み、富国強兵・殖産興業、自由民権運動 激動する東アジア 日清戦争、日露戦争、条約改正 近代の産業と文化の発展 日本の産業革命

3 評価方法

各観点	評価規準	評価方法
知識・技能	我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係に関して理解するとともに、調査や諸資料からさまざまな情報を効果的に調べまとめている。	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査・小テスト・レポート 振り返りプリントの記述
思考・判断・表現	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらをもとに議論したりしている。	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 課題レポートの記述 振り返りプリントの記述
主体的に学習に取り組む態度	社会的事象について、国家および社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> 課題レポート 振り返りプリントの記述

4 授業の取組についてのアドバイス

- ・地理では白地図や雨温図などの資料を活用することが多いです。色鉛筆を準備しましょう。
- ・社会科は暗記科目ではありません。「なぜ?」「どうして?」「どのように?」などの疑問を大切に、それらを解決しようとするのが重要です。
- ・自分の考えを周りに伝えることがとても大切です。グループ活動やクラス全体での話し合いに積極的に参加しましょう。
- ・レポートの提出があります。授業内で学習したことを生かして論理的に課題の答えを記述できるようにしましょう。

5 家庭学習の進め方についてのアドバイス

- ・プリントで授業を進めます。その日に授業内容を復習しましょう。
- ・ワークを繰り返し取り組み、基本知識を定着させましょう。

6 定期考査前の取組についてのアドバイス

- ・授業プリント、教科書、ワークを復習し、重要事項を確認しましょう。
- ・例年都立入試には記述問題もあるので、苦手意識をもち、チャレンジしましょう。